

ご参加実績

日産自動車	本田技研工業	マツダ	SUBARU	三菱自動車工業
日産オートモーティブテクノロジー		ソニー	NECグループ	東芝グループ
富士通グループ	日立製作所	セイコーエプソン	三菱重工業	小松製作所
アサヒビール	キリンビール	味の素	江崎グリコ	Meiji Seika ファルマ
明治	大塚製薬	NTTコミュニケーションズ	東日本旅客鉄道	京成電鉄
成田国際空港	旭化成グループ	東レ	富国生命保険	三菱UFJ信託銀行
かんぽ生命保険	東京大学	ジャスコ	近鉄・都ホテルズ	ハウス食品グループ本社
JTB	YKK	日立ハイテクノロジーズ	日立アプライアンス	日本航空
他	*社名順不同			

対象

課長またはこれに準ずる職層

開催日程

1泊2日(木・金) 宿泊型研修

	日程	会場
第1回	9月 10日(木) ~ 11日(金)	首都圏開催
第2回	10月 8日(木) ~ 9日(金)	首都圏開催
第3回	11月 12日(木) ~ 13日(金)	首都圏開催
第4回	12月 3日(木) ~ 4日(金)	首都圏開催

2020 ミドルクラス交流研修

新しいマネジメントスタイルの創造

BEAM CONSULTING GROUP



ビーム・コンサルティンググループ株式会社
〒160-0005 東京都新宿区愛住町22 オカザビル
TEL 03(3354)2721 FAX 03(6273)2272
guest@beamcons.co.jp http://www.beamcons.co.jp

研修のねらいと期待する成果

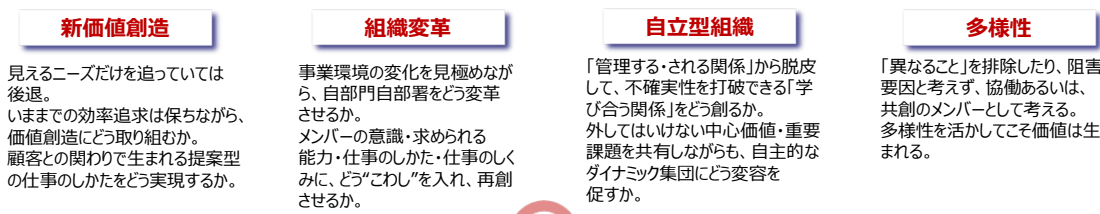
事業環境が日々変化の中で、組織が最大限の力を発揮し、競争力を高めるには、ミドル層の役割が大きく影響してきます。現場の事に精通し、且つ、高い視点から事業の進捗を把握しているミドル層が、上下間だけでなく部門間のブリッジとなり、従来からの「内部管理」に加え、将来に向けての価値創造や変革を牽引するリーダーとしての役割を果たすことを期待されています。当研修では、予測が難しい事業環境下において、その変化に対応するための他社の最新のマネジメント事例に触れるとともに、受講者が抱えるマネジメント課題の解決策を、他社との交流を通じて模索していきます。

- 各業界を代表する企業における先端のマネジメント事例を知る
- ミドルマネジメントとしての役割・実行課題を明確にし、受講者のマネジメント上の課題に対し、他社の視点からその課題解決のヒントを得る
- 視点移動（自社内思考からの脱皮、部門最適から全体最適への思考転換）、視野拡大（マクロ環境に対する高いアンテナ）
- 他社社員との人的ネットワークの構築

討議テーマと受講者の声

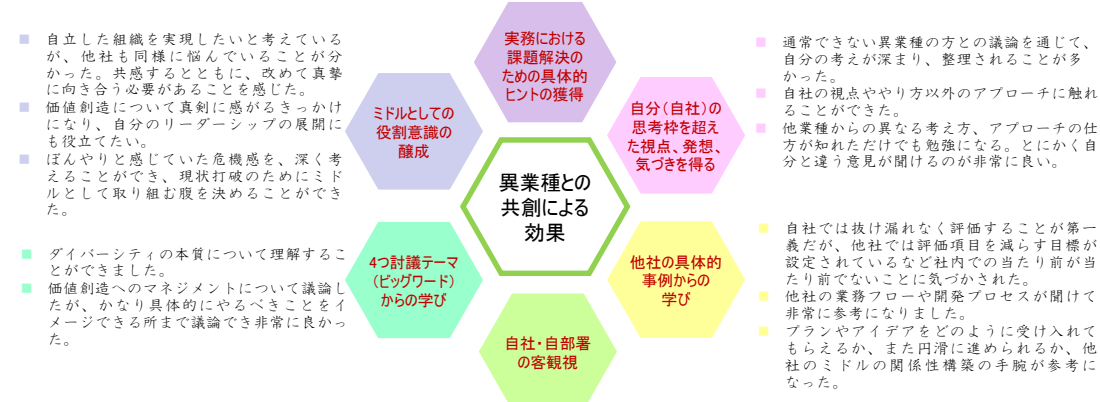
この研修では、激変する事業環境の中で、これからのミドルマネジメントに問われるテーマとして、「**新価値創造へのアプローチ**」、「**組織変革へのリーダーシップ**」、「**自部署を自立型集団に成長させるには**」、「**ダイバーシティ（多様性）マネジメント**」の4つのビッグワードをもとに他社との交流を図ります。交流討議を通じて、環境変化に対応するための他社の最新マネジメント事例を知るとともに、自社の課題解決へのヒントを得ます。

【4つのビッグワード】
従来からの組織管理に加え、次の部門経営を担うミドル層に期待される役割としての**継続的な価値創造のためのマネジメントを模索**



各テーマを有機的に結合して
価値創造のための仕事のしかた・しくみを模索する

- 自分のアクションプランに対して、真剣に考えてもらい、検証できたのは非常に良かった。第三者的立場でレビューして頂き大変参考になった。
- マネージャーとしてやるべきことをいろいろな視点や考えに基づき議論でき、深く考えることができた。様々なアドバイスは気づきが多かった。
- 自分の抱えている課題に対して有効な施策や気づきがあった。他社の方の考えや行動も新鮮に感じられ、今後に活かしていきたい。



- 通常できない異業種の方との議論を通じて、自分の考えが深まり、整理されることが多かった。
- 自社の視点ややり方以外のアプローチに触れることができた。
- 他業種からの異なる考え方、アプローチの仕方が知れただけでも勉強になる。とにかく自分と違う意見が聞けるのが非常に良い。
- 自社では抜け漏れなく評価することが第一義だが、他社では評価項目を減らす目標が設定されているなど社内での当たり前が当たり前でないことに気づかされた。
- 他社の業務フローや開発プロセスが聞けて非常に参考になりました。
- フランやアイデアをどのように受け入れてもらえるか、また円滑に進められるか、他社のミドルの関係性構築の手腕が参考になった。

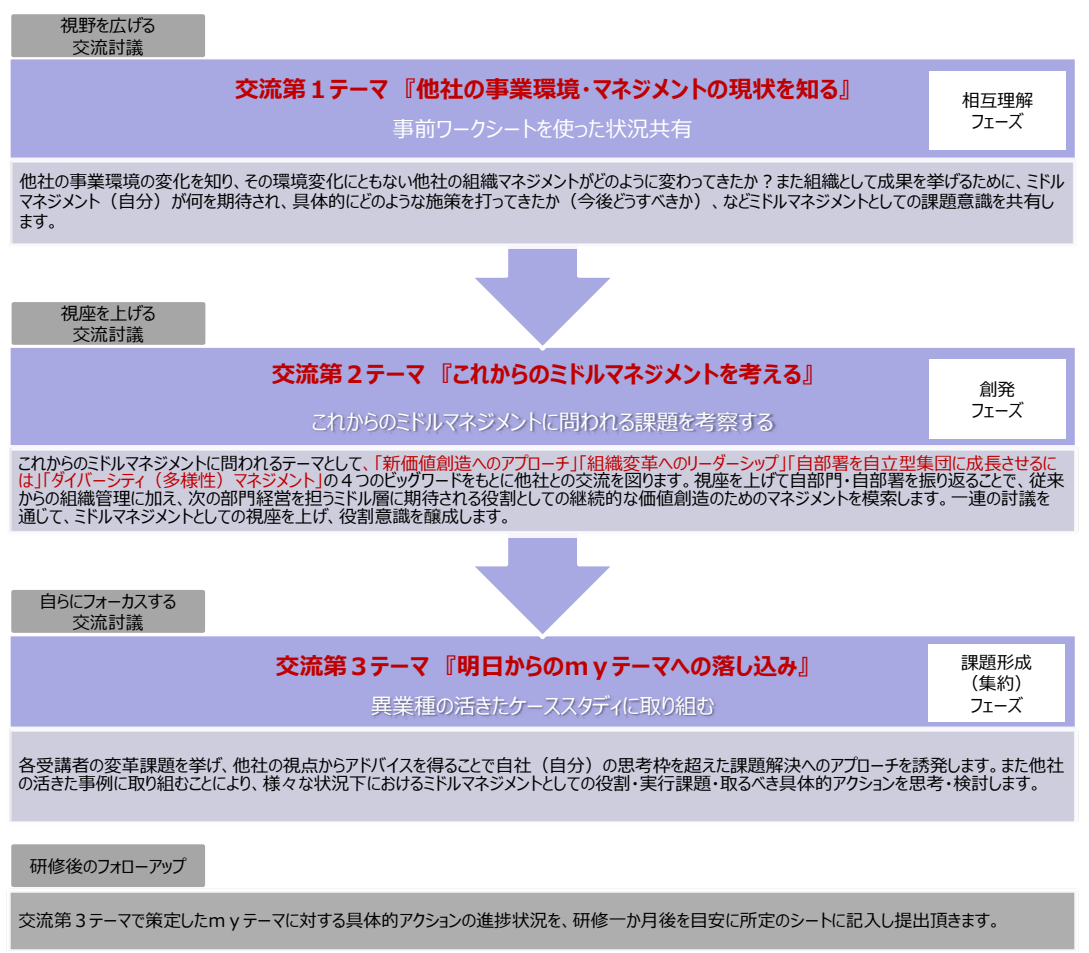
- 自分を改めて見つめ直す機会、他社からフィードバックを貰う機会、他社をじっくり観察する機会、他社の情報を得る機会、等様々な機会を提供して頂いた。
- 自社の強みや弱みを共有でき非常に有意義だった。弊社への印象が共通的了だったのは興味深い。しかも的を得ていた。
- 他社からの印象で、「明るい」「自由闊達な印象」というフィードバックを貰え、自社の強みとして初めて認識することができた。

タイムテーブル

第1日	9:30	【集合】 【オープニングオリエンテーション】 事務連絡、趣旨説明	第2日	8:30	【昨日の振り返り】 最終発表 ファシリテーターからのフィードバック
	10:40	【交流第1テーマ】 《他社の事業環境・マネジメントの現状を知る》 事前ワークシートを使った状況共有		11:45	【交流第3テーマ】 《異業種の活きたケーススタディに取り組む》 myテーマ設定
	12:00	【昼食】グループ毎に昼食		12:00	【昼食】
	13:00	事前ワークシートを使った状況共有(続き)		13:00	myテーマ設定(続き)
	14:00	【交流第2テーマ】 《これからのミドルマネジメントを考える》 グループ討議テーマ設定 グループ討議		14:00	myテーマの発表と相互フィードバック
	15:00	グループ討議テーマ設定		16:30	【クロージング】 《クロージング&アンケート記入》
	17:00	中間発表		17:00	【解散】
	18:00	【夕食】			
	19:00	中間発表(続き)			
	19:30	グループ討議(アウトプットのブラッシュアップ)			
20:30	【懇親会】				

研修フロー

この研修では、受講者が日常業務に於いて抱えるミドルマネジメントとしての課題意識を研修の討議テーマとして持ち込んで頂き、その課題解決のヒントを他社社員との交流討議を通じて、誘発させることを期待しています。講師から知識やフレームワークを学ぶのではなく、**受講者が“相互に学びあう”、“お互いにテキストになる”**研修です。



各受講者の変革課題を挙げ、他社の視点からアドバイスを得ることで自社(自分)の思考枠を超えた課題解決へのアプローチを誘発します。また他社の活きた事例に取り組むことにより、様々な状況下におけるミドルマネジメントとしての役割・実行課題・取るべき具体的なアクションを思考・検討します。

研修後のフォローアップ

交流第3テーマで策定したmyテーマに対する具体的なアクションの進捗状況を、研修一か月後を目安に所定のシートに記入し提出頂きます。